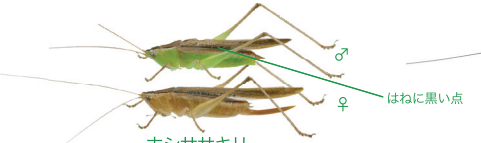




オナガササキリ
背の高い草むらにふつう。



コバネササキリ
背の高い湿った草むらにいます。



ホシササキリ
背の低いかわいた草むらにやたら多い。鳴き声はかすか。



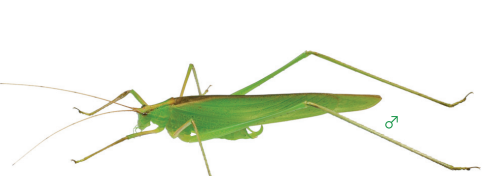
ウスイロササキリ
背の低い草むら。水田にもよくいる。シリシリ...



フタツゲササキリ
竹林や植え込みにいる。鳴き声はかすかで、ジジジッ、ジジジッ。



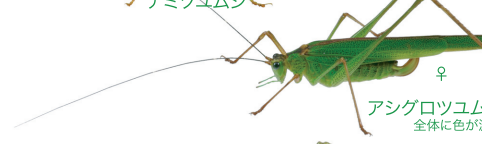
ササキリ
林のふちや中にいる。ジジジジ...



セスジツユムシ
エゾツユムシは、はねのはが広く、山地にいる。



ナミツユムシ



アシグロツユムシ
全体に色が濃い



ヤマクダマキモドキ
樹上において、夜間プチプチと鳴く。サトクダマキモドキは前あしが緑色。



ヒメクダマキモドキ
樹上にいる。瀬戸内海沿岸に多い。



クツムシ
緑色型もある。



ハヤシノウマオイ
ハタケノウマオイは鳴くテンボが速く、草原にいる。



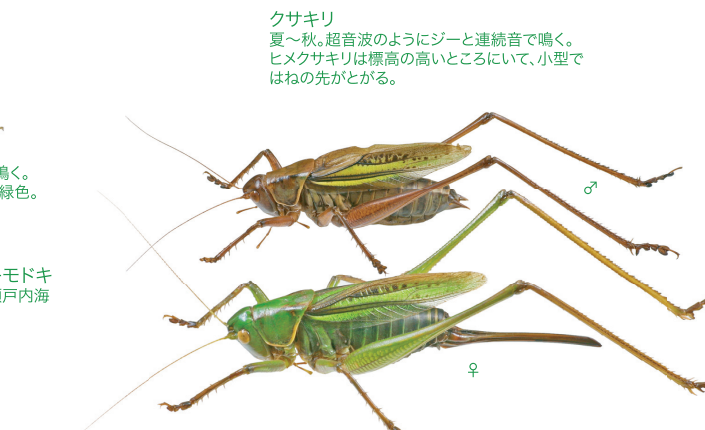
カヤキリ
巨大。7、8月、ススキにいます。シブイロカヤキリモドキは茶色で小型、キバが黒く、初夏に見られる。



クビキリギス
茶色型もある。ときにピンク色も。成虫越冬し、秋から春に見られる。桜の咲く頃から、ジーと連続音で鳴いている。



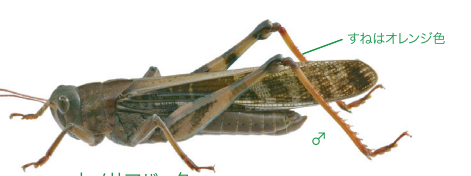
クサキリ
夏～秋。超音波のようにジーと連続音で鳴く。ヒメクサキリは標高の高いところにて、小型ではねの先がとがる。



キリギリス
ヤブキリは同じような大きさで、背中に茶色のスジがある(46ページ写真参照)



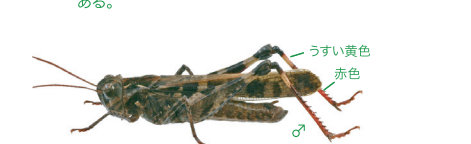
ヒメギス
7、8月。湿った草地にふつう。シリシリと鳴く。コバネヒメギスははねが5mmくらいで、チリッと鳴く。



トノサマバッタ
緑色型もある。オスメスともにクルマバッタより大きい。



クルマバッタ
農村部のあぜ道や河川敷にいます。茶色型もある。



クルマバッタモドキ
上2種より小さい。緑色型は少ない。



マダラバッタ
荒地にごくふつう。



ヒナバッタ
林のふちが好き



ヒロバネヒナバッタ
はねの幅が広く、後ろはねが黒い



ショウリョウバッタ
緑と茶色がまざったものもある。メスは巨大。

このほか、鳴くバッタには、ナキイナゴ(全体に黄色)、ツマグロイナゴモドキ(黄色くてびざとはねの先が黒い)などがある。これらは夏に見られる。